

2025年10月入学  
横浜国立大学大学院環境情報学府博士課程後期  
渡日前特別選抜学生募集要項

1. はじめに

横浜国立大学大学院環境情報学府博士課程後期では、日本国外に在住する志願者が来日することなしに直接受験する機会を提供しています。今回は、2025年10月入学の学生を募集します。

入学を希望する方は、この学生募集要項をよく読み必要とされる情報を正確に取得し、間違いのないように出願手続きを行ってください。

本学府には、多様な研究分野が設けられており、分野ごとに受け入れ可能な人数などが異なります。そのため、志願者は、自分が専攻したい分野を見つけ、その分野を担当する教員とあらかじめ相談した上で、出願をしてください。なお、本学府の授業は、原則、日本語で行われていますが、一部の教員は英語での研究指導が可能ですので、直接、志望先教員に確認してください。

本入試に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

問い合わせ先

理工学系事務部環境系支援課環境情報学府係〔環境情報1号棟2階〕

住 所： 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-7

E-mail： ses.daigakuin-envアットynu.ac.jp

※「アット」を「@」に変換してください。

問い合わせは、電子メールで日本語または英語でお願いします。

専攻	教育プログラム	氏名	E-mailアドレス
人工環境専攻	安全環境工学	伊里 友一朗	izato-yuichiro-tkアットynu.ac.jp
		白石 俊彦	shiraishi-toshihiko-fdアットynu.ac.jp
	環境学	飯島 志行	iijima-motoyuki-jcアットynu.ac.jp
	社会環境	奥山 尚子	okuyama-naoko-rtアットynu.ac.jp
自然環境専攻	生態学	中基 亮介	nakadai-ryosuke-ptアットynu.ac.jp
	地球科学	下出 信次	shimodeアットynu.ac.jp
	環境学術	及川 敬貴	oikawa-hiroki-nmアットynu.ac.jp
情報環境専攻	情報学 情報学術	白川 真一	shirakawa-shinichi-bgアットtnu.ac.jp
	数理科学	小関 健太	ozeki-kenta-xrアットynu.ac.jp

※「アット」を「@」に変換してください。

#### 安全保障輸出管理について

横浜国立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人横浜国立大学 安全保障輸出管理規則」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から外国人留学生の受入れについては厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合がありますので、願書の提出の前に、指導教員予定者と相談するなど、出願にあたっては注意してください。なお、外国人留学生の方は入学時に「外国為替及び外国貿易法」を遵守する誓約書に署名の上、提出していただきます。

詳細については研究推進機構ホームページを参照してください。

<https://www.ripo.ynu.ac.jp/researcher/start/security/>

## 2. 博士課程後期概要

### (1) 博士課程設置趣旨

21世紀において、世界全体が直面しており、その対応が求められている課題は、持続的に発展する安全で快適な社会の実現、すなわち「安心・安全な持続可能社会の創生」であるとされています。環境に対する捉え方においては、数多くの分野の関わりが重要であり、分野の枠組みを越えた俯瞰的な知識の重要性が増しています。上記に関わる社会的課題を解決するために、環境情報学府では「環境」と「情報」を基軸に、安心・安全な持続可能社会の創生を目指して、学際的な文理融合・異分野融合の教育研究を行います。その基軸の1つである「環境」を次の3つの側面が不可分に重なりあったものと捉え、それぞれに対応する専攻を置いています。

- 人工環境 ヒトとモノが作る環境
- 自然環境 自然が提供する環境
- 情報環境 情報が作り上げる環境

もう1つの基軸である「情報」については、狭義の情報科学や情報工学分野にとどまらず、広く情報学の立場から本学府の全分野を貫くものと考えます。

環境情報学府では、前述の3つの環境の相互作用が生み出す情報に基づき、理系・文系の枠を越えて、新たな社会的価値を創生し、様々な分野で、安心・安全な持続可能社会の構築に貢献できる人材を養成します。さらに、個々の専門分野に特化した知識や技能を備えつつも、分野を越えたコミュニケーションの行える力量をもった人材の育成を実現します。

博士課程後期においては、持続可能な社会および自然環境、先端的な情報学に関する文理融合教育を実践し、リスク共生学の研究成果に基づいた知識や技術をイノベーションにつなげて社会で活躍できる高度専門職業人を育成します。博士課程後期においては、更に高度な専門教育および分野横断的かつ文理融合教育と、自らの研究活動を通して、環境系・情報系・人文社会系に広く関わる課題を発見および解決し、理系・文系の枠を越えた新たな社会的価値を創生することで、安心・安全な持続可能社会の構築に貢献するとともに、その分野を牽引できるリーダー的な人材を育成します。

### (2) 環境情報学府・専攻のアドミッション・ポリシー [入学者受入方針]

下記のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.eis.ynu.ac.jp/academic/admission/policy/>

## 3. 本学府における学生の受け入れ可能教員

下記のウェブサイトをご覧ください。

[https://www.eis.ynu.ac.jp/academic/member/educ\\_2018/](https://www.eis.ynu.ac.jp/academic/member/educ_2018/)

#### 4. 募集人員

人工環境専攻：若干名

自然環境専攻：若干名

情報環境専攻：若干名

#### 5. 出願資格

出願時に日本国外に居住する者で、日本国外で修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2025年9月30日までに日本国外で修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得見込みの者。

\*日本国外で修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得見込みの者が、入学試験に合格した後に、2025年9月30日までに学位を取得できなかった場合は、入学許可を取り消します。

#### 6. 出願手続

(1) 志願者は、本学府入学後に研究指導を受けたい教員を1名選んで、直接E-mail等で連絡をとった上で、必ず出願の許可を得てください。受け入れ可能な教員と教育研究分野については、3ページの「3.」に記載したウェブサイトで検索してください。

教員の連絡先については、下記ウェブサイトで検索してください。

<https://www.eis.ynu.ac.jp/english/category03/all/>

\*教員の連絡先が不明な場合は、1.にある専攻別問い合わせ教員まで、お尋ねください。

受け入れ予定教員と相談する際には、履歴書、過去の業績リスト、入学後の研究希望計画書、外国語試験の成績（TOEIC、TOEFL、IELTS、日本語能力検定試験など）などの情報を指示に従って提出してください。

(2) 志願者は下記の書類を、入学検定料を添えて、2024年10月31日（木）から11月29日（金）までに到着するようにEMS（国際スピード郵便）など、引き受けや配達を記録できる方法で郵送してください。なお、英語または日本語以外の証明書については、英語訳または日本語訳を添付してください。

①入学願書：所定のもの（書式1）

②研究（希望）計画書：所定のもの（書式2）

③写真：出願前3か月以内に上半身無帽で撮影したもの1枚。

サイズは縦4cm、横3cm。入学願書に貼付してください。

④最終大学院修了証明書または修了見込み証明書

⑤最終学歴成績証明書

⑥業績報告書：所定のもの（書式3）

修士論文の概要、公表論文その他の業績リスト（別刷および業績概要を添付すること）。

⑦語学能力を客観的に示す書類（該当者のみ）：

TOEIC、TOEFL または IELTS の成績証明書・スコアシート

（英語を母国語としない者で、希望する指導教員から提出するよう指示があった者。  
成績証明書・スコアシートは出願前 24 か月以内のものに限る）

日本語能力検定試験の成績証明書（日本語を母国語としない者で、希望する指導教員  
から提出するよう指示があった者。）

⑧推薦書：所属・出身大学等の指導教員または研究科長レベル以上が作成したもの。

⑨身分証明書のコピー（1部）：本人の写真が記載されているものに限る。

例えば、パスポートのコピー（氏名・国籍・写真が記載されているページ）、運転免許  
証のコピー、など。

⑩入学検定料：30,000 円

下記URLより、教育機関向けの国際的な送金サービス「Flywire」を利用し、クレジッ  
トカードもしくは銀行振込により払うことが可能です。

<https://www.flywire.com/pay/ynuni/>

利用に際しては、Flywireのウェブサイトを確認し、不明な点があればサポートデスク  
までお問い合わせください。

Flywireウェブサイト：<https://www.flywire.com>

Flywireサポートデスク：<https://www.flywire.com/support>

※払込時に別途必要な払込手数料は、志願者の本人負担となります。

※学籍番号/受験番号欄には、「0」を入力してください。

※「支払い完了通知のメール画面を印刷したもの」を所定の貼付用紙に貼付のうえ、入  
学手続き書類に同封してください。

宛先：Office of Academic Affairs

Graduate School of Environment and Information Sciences

Yokohama National University

79-7 Tokiwadai, Hodogaya-ku, Yokohama, 240-8501

JAPAN

## 7. 選抜の方法

応募した書類に基づく書類審査、及び学力試験【筆記試験、または口述試験（インターネ  
ットインタビューを含む）】を実施します。試験日時、実施方法など詳細は後日、志願者に  
直接通知します。

## 8. 合格者発表

結果は、2025年3月14日（金）に環境情報学府のウェブサイト上で発表するとともに、  
志願者宛てに郵送します。

## 9. 入学時に必要な経費

- (1) 入学料 282,000円 (現行)
- (2) 授業料 半期分 267,900円 (年額 535,800円) (現行)

[注1] 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

[注2] 納入方法の詳細は、入学手続書類と一緒に送付します。

## 10. 合格者発表後の渡日手続きについて

**日本に来る前に次の手続を必要とします。**

### (1) パスポートの取得

パスポートは自国の政府から発行されるもので、これがないと出入国できません。初めてパスポートを申請する場合は、受験や入学の証明書を必要としたり、受け取るまで時間がかかったりする場合があります。事前に確認した上で、申請手続をしてください。また、証明書が必要な場合は、必ず、出願の時に申し出てください。

### (2) 査証の取得

本学留学生の在留資格は、「留学」です。初めて入国するときは必ず、「留学」査証で入国する必要があります。「留学」査証は日本の入国管理局が発行した在留資格認定証明書を日本公館に提出すれば、取得できます。在留資格認定証明書の申請は1)日本に住む親・兄弟姉妹、配偶者、2)奨学金の提供者、3)指導教員だけが申請できます。「留学」以外の査証(「家族滞在」を除く)からの変更は、極めて複雑な手続を必要としたり、変更が認められなかったりします。「留学」の査証を取得して入国をしてください。「留学」以外の査証を持つ学生は留学生と見なされませんので、留学生対象の奨学金に申請できないなど、留学生向けのサービスを受けられません。

### (3) 住宅の確保

渡日後の住まいは、日本に住む代理人や同国の留学生を通じて事前に準備しておくようお願いします。

なお、渡日前入試に合格し、横浜国立大学に入学する場合には、大岡インターナショナルレジデンスまたは留学生会館に優先的に入居することができます。ただし、月額10万円を超える給付金(本学、派遣元機関からのものを含み、使途を研究に限るものを除く)を受給する学生は留学生会館には入居できません。

大岡インターナショナルレジデンスに入居を希望する場合は、10月入居の場合は8月20日までに連絡してください。

留学生会館に入居を希望する場合は、通常の入居募集(7月上旬～中旬)に応募してください(優先的に部屋を確保します)。下記のウェブサイトもご覧ください。

[https://www.ynu.ac.jp/campus/institution/foreign\\_student.html](https://www.ynu.ac.jp/campus/institution/foreign_student.html)

## 1 1. 注意事項

- (1) 出願手続後の提出した書類の内容変更は認めません。また、出願書類は返却しません。
- (2) 出願書類の記載事項に記入漏れやその他の不備がある場合は、出願書類は受理しません。
- (3) 出願書類に虚偽の記載があった場合や、試験中の不正行為が判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。また、不正行為の態様によっては、警察に被害届を提出する場合があります。
- (4) 一度払込みをした入学検定料は「出願をしなかった（出願が受理されなかった）」場合又は「検定料を二重に払い込んだ」場合を除き返還しません。返還請求方法については、環境情報学府係へ問い合わせください。
- (5) 入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしません。
- (6) 在留資格「留学」を取得するに当たっては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。

## 1 2. 個人情報の取り扱いについて

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、以下の目的のために利用します。

- ①合格者への連絡業務（奨学金や保険等に係る福利厚生関係資料や入学後の行事等に関する資料の送付、生協資料の送付）及び入学手続業務
- ②入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除（留学生を除く）・授業料免除等の福利厚生関係の資料
- ③入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）
- ④本学における広報・諸調査・研究（入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・分析を含む）
- ⑤入学者の個人情報について本学関連団体である校友会及び同窓会の入会手続きに必要な範囲で提供する場合があります。

調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。

それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。

- (2) 上記(1)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

### 1 3. ChatGPTをはじめとする生成 AI の利用について

出願書類等の作成に当たっては、横浜国立大学の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を確認し、不正が疑われたり、入学後に学修上のミスマッチが起きたりしないよう、自らの責任において十分に考えたものを提出してください。

### 1 4. アカデミックキャリア支援グローバル大学院プログラム（GDACS）について

アカデミックキャリア支援グローバル大学院プログラム（GDACS）は、新興国の大学等に在職している教員等のうち博士号を有しない者で、博士課程後期へ入学する学生を対象に、海外協定校等の所属教員等に本学に留学して博士号を取得する機会を提供することにより、その後の当該協定校の教育研究の質向上及び横浜国立大学との共同研究の推進に貢献するというを長期の事業目的としています。

本プログラムに出願する者の入学検定料は不徴収とします。合格者となった場合には、入学料および授業料が免除となります。

本プログラムへの出願を希望する者は、出願資格を確認の上、以下の書類を提出すること。

(1) 出願時の所属機関（研究科長(又は専攻長)以上)による推薦状（別紙様式1）

(2) 本学教員による推薦状（別紙様式2）

詳細は本学ウェブサイト参照すること。書式についても本学ウェブサイトからダウンロードすること。

<https://global.ynu.ac.jp/admissions/gdacs/>

### 1 5. 私費外国人留学生経済支援制度（担当：留学生係）

学業成績の優秀な私費外国人留学生の受入れ促進及び入学後の奨学支援を行うことを目的とした経済支援制度です。授業料免除は、入学試験の成績により選考を行い、上位の者から、全額免除、半額免除、3割免除の順に割り当てます。（なお、博士課程後期は上位の者から順に全額免除又は半額免除になります。）

申請を希望する者は、以下のウェブサイトを確認の上、入学後に申請を行ってください。

URL: [https://global.ynu.ac.jp/support/tuition\\_scholarship/](https://global.ynu.ac.jp/support/tuition_scholarship/)